

質問 日本の農家は40年以上も減反に協力。国税を莫大に投資何が残り何が生きたのか。将来ビジョンもなく場当たりの補助金のバラマキに農家は夢も希望も無い混乱と迷走の現実。無能無策と言っても過言でない。農家にも限界があると嘆いている。就農人口の減、平均年齢は高く後継者不足を自治体としてどう認識しているのか。真面目に米づくりに励む農



山賀 清一 議員

農政について

質問 3年間で4人の医師を増員し「可能なかぎり早期の救急告示病院の復活をめざし、救急患者の受け入れ向上に努める」とする事業計画が提出されているが、医師増員についての現在の状況と今後の見通しについて伺う。



稲毛 明 議員

郷病院の医師増員計画の現状は

答弁 日本の主食は十分認識している。知恵と力を更に出し、基幹産業は元気がなくてはならない。ご指摘の通り、生きた農政に務めるべきと考える。産業構造の変化と農業政策の中での制度的面が難しいところ。転作物物に心じた助成金と備蓄制度のバランス等で価格変動が起こり安定経営にも無理が生じている。効率農業に努

家を裏切っては日本経済が益々衰退閉塞しその責任は重大。来る世に外国にノーと言う時が到来する恐れも大。その時点を想定して今取組む方策と手段はいくらでもあがるが、その認識と覚悟はあるか問う。先き向き不透明で日本の農政はどの方向に歩もうとしているのか。中途半端な支援策でなく、徹底した抜本策が必要不可欠。この点首長として国県に強く働きかける責任がある。笑える米作り農家策に市独自施策はあるはず。その点問う。

質問 就学援助を受ける児童生徒は年々増加傾向にあり、認定基準を厳しく支給額を減らす自治体がある中で、改善に努める自治体もある。当市でも参考にして

就学援助制度の改善を図れ



科の常勤医師が1人赴任予定である。今後は、厚生連系統の病院との連携により、医師のローテーションによる外来診察枠増加に向けた調整を行っている。また、新潟大学だけでなく、首都圏の私立医大との派遣交渉を開始している。



質問 原発放射能汚染で水道水は安全なのか。人体に影響ないと市民に言い切ることができるとか。数値基準測定表を市民に定期的に情報提供する義務がある。

水道水について

力する。

答弁 ①は、保護者説明会で周知し、4月から申請できる ②の該当するかどうかは説明文書で知らせている ③は同様の扱い ④については当市では難しい ⑤の引き続き希望する場合については、当市では、年度毎の申請が必要 ⑥の仮認定制度については当市ではやはり難しいと考える。支給者が当市で増加傾向で申請方法の簡便化を図り、現行基準を維持していく。

①年度初めに全家庭に「受給希望調査兼委任状」を配布し、全員から回収 ②該当するかどうかの家族構成ごとの所得基準や対象項目と金額 ③税金申告済みは所得証明不要 ④中学校入学準備金を3月末支給 ⑤引き続き希望する場合、「就学援助世帯状況調査」の提出で可 ⑥仮認定制度をつくり正式認定される7月までの4ヶ月分支給。

議決結果

6月定例会（平成23年第3回 6月10日～22日）

		全会一致で可決した議案等	結果
人事	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（小野敏氏） 任期満了に伴い、小野敏氏（百津町）を新委員として法務大臣に推薦したい。		適任
	阿賀野市監査委員の選任について（土橋伴二氏） 前監査委員の退職に伴い、後任に土橋伴二氏（みそら野町）を選任したい。		同意
市長提出議案 予算	平成22年度阿賀野市一般会計補正予算（第8号） 平成23年3月31日専決処分 歳入歳出それぞれ1億171万7千円を追加し、総額190億3,561万4千円とする。主に財政調整基金ほか基金積立金の増額。また、きめ細かな国庫交付金事業等の繰越明許費5億9,874万9千円を計上。		承認
	平成22年度阿賀野市少年自然の家特別会計補正予算（第4号） 平成23年3月31日専決処分 屋内体育館屋根修繕工事の繰越明許費540万8千円を計上。		承認
	平成22年度阿賀野市水道事業会計補正予算（第4号） 平成23年3月31日専決処分 収益的支出について、東日本大震災に伴う水道施設の点検作業及び災害派遣に係る時間外勤務手当139万7千円を増額し、支出合計を11億2,981万4千円とする。		承認
	平成22年度阿賀野市病院事業会計補正予算（第6号） 平成23年3月31日専決処分 収益的支出について、水原郷病院職員労働組合が新潟県労働委員会に行った不当労働行為救済申立てについて、事件取り下げにより弁護士委託契約が終了したため、これに係る弁護士委託料52万5千円を増額し、支出合計を28億9,164万8千円とする。		承認
	平成23年度阿賀野市一般会計補正予算（第1号） 平成23年4月19日専決処分 歳入歳出それぞれ4,739万3千円を追加し、総額190億339万3千円とする。主に東日本大震災関連（被災者避難支援を含む）で当面必要となる経費を増額。		承認
	平成23年度阿賀野市病院事業会計補正予算（第1号） 平成23年4月19日専決処分 収益的収入を199万5千円増額し収入合計を3億4,070万3千円に、収益的支出も199万5千円増額し支出合計を5億3,538万2千円とする。公設民営化に伴う法律相談等に係る弁護士顧問料63万円を減額し、新たな訴訟事件に係る弁護士委託料の着手金262万5千円を増額。		承認